都市計画

の高さ制限

全市街化

全域に建物の高さ制限を議員 本市の市街化区域

の指定は、本市の総合計

画基本構想における土地

(3)

駅前大通り線の自転車等排除

は、自転車・バイクの利議員 平塚駅北口周辺で

割が無料施設の利用と路 -放置という状況で、特 駅前大通り線は二重三

辺の駐輪は、全体の約七 後の駅周辺の総合的な自 策が求められている。今 状況であり、早急な改善 料駐輪場を利用している 都市整備部長 駅北口周 転車・バイクの駐輪場整 **ᅋ計画について聞きたい。**

ている。これを踏まえ、 重に駐輪されており、歩 仃者の通行に支障を来し

既存の地下道を自転車等 地上での平面移動となり、 が見解を聞きたい。 により、歩行者の通行は 議員 駅北口広場の改修 計画を進めていく。 用者の大半が歩道等の無

考えられる。改修後の歩 地下道を利用することも

行者の移動形態等を見極

ていることなどである。

に関する市民ニーズが高

どの計画に基づき実施さ

本構想を受けて実施する 塚市交通バリアフリー基

れるのか聞きたい。

が計上されているが、こ

まちづくり計画および平 市総合計画、中心市街地

バリアフリー設計委託料

正予算に、北口駅前広場

平成十九年九月補

都市整備部長 この事業

は、上位計画である平塚

について聞きたい。

のバリアフリー化事業は

諸計画はその方針等に沿

プランの検討をはじめ、

定しており、都市マスタ

って推進していること、

本方針とする駐輪場整備 有料化することなどを基 駅周辺の駐輪場をすべて イクをすべて排除し、

いたい。

駅南側の

駅前大通りの駐輪場所

公共交通の通行を区分し、

車の駐輪対策について伺

議員 駅南側の放置自転 上で判断したいと考える。 めるなど、十分検討した

都市整備部長 改修後も することも可能と考える の乗降場を使用する可能 の駐輪場として有効利用 一部のバス等は広場内部 輪場の未利用部分を一時 認識している。月極め駐 以降に増加することから、 放置自転車は、午前九時 都市整備部長 利用へ 転用することなど 時利用者によるものと

良好な景観が保たれた住宅街 まり、喫緊の課題となっ 中高層建築物の高さ制限

原則として四つの種別に まえ、地域に応じた高度 している。この方針を踏 に対する考え方を整理し 来、上位計画である都市 議員 本市は、現在第一 区分することとした。 都市政策部長 平塚市総 る理由を聞きたい。 に高度地区の指定を進め るべきであるが、策定前 策定を検討中である。本 次都市マスタープランの 合計画基本構想により土 に高度地区の指定を進め マスタープランの策定後 和用の方針等が既に決

都市政策部長

高度地区

新たに四種類の高さを指 の変更素案が示されたが、 定める都市計画高度地区

それぞれの特性に応じた

良好な環境の維持、保全

を図ることを基本方針と

住宅地、商業地、工業地

利用の考え方に即して、

定した理由を伺いたい。

高さ制限の緩和も可

活環境の利便性を求め駅

駅前広場の

バリアフリー

準にとどめており、 また、この素案は骨格基 計画提案制度を活用する は、地区計画制度や都市 な地区の整備等について の詳細な区分設定や新た こととしている。 今後

議員 近年、高齢者が生 総合設計制度活用し

和する建築基準法の総合

けでなく、低層部に商業 どの中心商業地において また、五〇〇平方景以上 を誘導する必要がある。 施設などを設けた建築物 して利用する共同住宅だ 一棟すべてを住居と

場合、高さ制限などを緩 善に資すると認められる の敷地内の建築物につい 市街地環境の整備改

都市政策部長 紅谷町な あるが見解を聞きたい 駅周辺においては高度利 する傾向も見られるなど、 用を促進すべきとの声も が望ましい。

高さ制限を緩和するため 議員 駅周辺の建築物の

ーホームの設置について

平塚駅へのライナ

は、これまで多くの施策、

因者である自治体が全て

車場の移設費用は事業原

ム設置に伴う駅ビル駐

負担する」という条件が

あり、事業が進展しなか

2針を基に推進してきた。

周辺のマンションに移住

図るために、本市独自の 現在この制度の実効性を などでは可能としている。 総合設計制度を活用した 都市政策部長素案では、 の取り組みを聞きたい。 総合設計制度の緩和基準 高さ制限の緩和を駅周辺

今後のスケジュール

ルを伺いたい。

作りを進めている。 設計制度を活用すること い、十九年度中には平塚 市都市計画審議会に諮り

イナーホームの設置

化等で方針転換

の設置へと方針変更する

方針変更した理由を伺い ら貨物線ホームの設置へ 界海道貨物線の旅客化等 今回示された計画案は、

に対応した貨物線ホーム

議員 ライナーホームか

向けた今後のスケジュー 議員 高度地区の変更に

都市政策部長 るなど法定の手続きを行 覧、意見書の提出を求め 市民に対して計画案の縦 の変更案としてまとめ、 ある。その後、高度地区 の見解を公表する予定で 理し、意見等に対する市 地域説明会での意見やパ 年八月から実施している ブリックコメント等を整 平成十九

バス乗降場などの改修計画を聞く 進めていきたい。

> イナー電車の利用率が減 化があり、平塚駅でのラ

増設による鉄道需要の変

都市整備部長 この設計 では配置計画の検討等を、 施設計を行う。基本設計 委託では、基本設計と実 実施設計ではバス等の軌 設計委託料の内訳 きる限りなくし、 議員 この設計により、

議員 一般車など他の駅 応する考えである。 うに確保するの 利用者の安全性はどのよ 都市整備部長 一般車と か。

まちを目指したバリアフ 行い、障害者や高齢者な どすべての人にやさしい 全な歩行空間の確保等を タクシー乗り場や一般車 て段差をなくすなど、安 乗降場は歩道を切り下げ

たいと考える。さらに、

変

ホームの設置推進は平成

都市整備部長 ライナー

での経緯を聞きたい。 ムの設置に関するこれま ものだが、ライナーホー

民東日本社内決定に一ホ が、平成十一年一月のJ **五年八月から行っている**

席の利用が可能となった

ことや湘南新宿ラインの

とするものだが、定期券 する着席サービスを目的 電車は遠距離通勤者に対 都市整備部長 ライナー

で普通電車等のグリーン

同意を得て二十年度の第 神奈川県との協議を行い、 四半期内の告示に向け

設計等を実施する。 計、その他必要な施設の 設計、駅前広場の構造設跡の検討、地下道の補強

レベーターを設置して対 等を配置する。また周囲 することを前提に、バス 場周囲の歩道を平面移動 改修される予定なのか。 に収まらない場合は、エ 階段による上下移動をで 都市整備部長 歩行者は バス乗降場はどのように 駅前広

である。

-20年度の着工目指す-関係者と協議重ね-

特化した整備であり、 辺基本構想と連動していの点については平塚駅周 修計画はバリアフリー 都市整備部長 今回 関連性について聞きたい。いるが、今回の事業との 周辺基本構想を策定し 議員 平成十年に平塚駅 の改 して ح と考える。 議員 バリアフリー化の

都市整備部長 これまで 今後の予定を聞きたい。 交通事業者

であり、二十年度の早い

時期に工事を発注する考

設計委託を終了する予定

る。しかし、全体の構想 は策定から九年経過して

とから、現在の財政状況 ら検証を行う必要がある などを踏まえ、多方面か 費を要する計画であるこ 場の設置など多額の事業 おり、大規模な地下駐車 い。なお十九年度内には、 実施設計を進めていきた

平塚駅の貨物線

たためである。

議員 この方針変更によ

道輸送環境に変化が生じ 少するなど、要望時と鉄

車場建て替えに伴う移設 がJRに移り、駅ビル駐 更することで、事業主体 都市整備部長 在来線の 費用は生じないと考える。 延伸に対応する貨物線ホ か聞きたい。 費用の負担はどうなるの ムの設置へと方針を変 駅ビル駐車場の移設

をはじめ、福祉団体、 き続き県警、交通事業者 終えている。今後も、引と協議し、大枠の調整は 関係者の共通認識のもと 業関係者等とも協議を重 ね、意見を聴きながら、